

「武庫川女子大学紀要」投稿細則

令和4年3月8日 改定

I 総 則

1. 投稿資格 本紀要に投稿できるものは、委嘱を含む本学専任の教授、准教授、講師、助教、助手、助手補とする。上記以外からの寄稿掲載は本委員会の審査の結果による。ただし、本学専任講師以上との共同研究者を含むことはさしつかえない。
2. 原稿内容 学術的研究領域における原著論文とする。ただし、価値ある調査報告及び研究資料はこの限りではない。
3. 著作権 掲載された論文の著作権は武庫川女子大学に帰属する。なお、本紀要に掲載された論文は、武庫川女子大学リポジトリに搭載し、インターネットを通して公開する。
4. 用 語 日本語または英語とする。
5. 書 式 一段組みの横書きを原則とし、紀要編集委員会が必要と認める場合には、縦書きも可とする。
6. 投 稿 原稿はこの細則に従って、作成しなければならない。これに従っていない原稿は作成のし直しを著者に求めることがある。原稿は、一編につき、刷り上がり9頁以内とする。投稿にあたっては、原稿正本1部、副本2部にUSBメモリーまたはCDを添え、必要事項を記入した投稿申込書とともに提出する。
7. 審 査 紀要編集委員会は1投稿論文につき、原則2名の査読者に審査を依頼する。査読者は論文の総合評価について、掲載の可否の判断、及び審査意見を付する。論文の採否は査読者の評価を参考に紀要編集委員会が決定する。
8. そ の 他
 - a) 提出期限を過ぎた原稿は、その理由を問わず、これを受理しない。
 - b) 著者の校正は原則として2校までとする。校正に際しては、印刷上の誤り以外の字句の訂正、挿入、及び削除は、原則として認めない。
 - c) その他の必要事項は、紀要編集委員会が定める。
 - d) 紀要編集委員会の開催は、紀要編集委員長が発議する。

II 原 稿

1. 原 稿
 - 1) 原稿の1枚がそのまま刷り上がりの1頁となるよう、図や表、写真なども、著者自身がアレンジして、原稿の中に組み込みいれておく。ただし、必要に応じて図、表を別に添付して提出してもよい。
 - 2) 提出原稿はA4判で作成する。
 - 3) 原稿の第1頁は次の順に従って作成する。
 - i) まず、表題(表題は正確、かつ簡潔に論文内容を表すものであること。また、副題は行を改めて書くこと)、著者名(さらに行を改めて中央に書くこと)、所属(学部、学科を、さらに行を改めて中央に書く)の順に書く。
 - ii) 和文原稿の場合、原則として、表題、著者名、所属は欧文を添える。
 - iii) 次に欧文要旨(200語前後)を置き、以下本文を続ける。欧文要旨及び欧文本文についてはネイティブチェックを受けたことを証明する書類を提出すること。

4) 緒言, 方法, 結果, 考察, 謝辞及び参考文献などの大見出しは2行取りとする.

5) 原稿は以下の要領で書く.

i) 和文原稿では, 1頁46字×45行 1段

ただし, 縦書きが認められた場合, 1頁32字×31行 2段

ii) 欧文原稿では, 1頁96字前後×45行 1段

6) 和文原稿の場合, 文章は原則として簡潔にし, 常用漢字, ひらがな, 新かなづかいを用いること.

外国語音訳, 生物の和名などはカタカナを用い, 外国人名, 生物学名などは原綴りを用いる.

7) 脚注は, 関係する本文中の語の右肩に*, **などをつけ, その頁の下に横線を引き, その下側に挿入すること. 行間は1スペースとする.

8) 活字書体の指定は別添資料に従うこと.

2. 図・表・写真

1) 同じデータを図と表の両者で示すことは許されない.

2) 写真は図として取り扱い, 図, 表にはそれぞれ番号と見出しを記入すること.

3) 図の番号及び見出しは図の下に, 表の番号及び見出しは表の上に記入すること.

4) 原則として, 図・表・写真はモノクロ印刷とする.

3. 参考文献・引用文献

1) 本文中の各引用箇所には, 語句の右肩に1), 2) …の引用番号を付けること.

2) 文献はこの引用番号の順に, 論文末尾に一括すること.

3) 参考文献・引用文献の記入は, 原則として「科学技術情報流通技術基準(SIST02)」に従うこと.

i) 雑誌の場合

1. 著者名. 2. 論文名. 3. 誌名(欧文誌名はイタリック). 4. 出版年, 5. 巻数, 6. 号数, 7. 始めのページ-終わりのページ.

[例1] 岡本かおり. 心理臨床家が抱える困難と職業的発達を促す要因について. 心理臨床学研究. 2007, Vol.25, No.5, pp.516-527.

[例2] Oberman, R.P. Fused voices: Narrated monologue in Jane Austen's Emma. *Nineteenth-century literature*. 2009, 64(1), pp.1-15.

ii) 図書の場合

1. 著者名. 2. “章の見出し”. 3. 書名(欧文書名はイタリック). 4. 版表示(初版の場合は不要), 5. 出版社, 6. 出版年, 7. 始めのページ-終わりのページ.

[例1] 図書の1章または一部

湯浅幸代. “物語を切り開く磁場”. 源氏物語の生成と再構築. 竹林舎, 2014, pp.190-208.

[例2] 図書全体

Peters, Pam. *The Cambridge guide to English usage*. Cambridge University Press, 2004, 608p.

iii) ウェブサイトの場合

1. 著者名. 2. “ウェブページの題名”. 3. ウェブサイトの名称. 4. URL, (参照年月日).

[例1] 内閣府. “第1章 少子化をめぐる現状”. 令和元年版 少子化社会対策白書. https://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/whitepaper/measures/w-2019/r01webgaiyoh/html/gb1_s1.html, (accessed 2020-02-10).

4. その他

1) 本文原稿の各頁の下, 中央部に頁数を書き入れること.

2) 本文の最後に, 紀要編集委員会にて原稿受理日を入れる.

活字指定一覧表

	和 文 論 文	欧 文 論 文
主 題	16 P 並体(明朝)	16 P Cent. (頭のみ Cap.)
副 題	14 P 並体	14 P Cent. (頭のみ Cap.)
著 者 名	12 P 並体	12 P Cent. (頭のみ Cap.)
大 見 出(緒言など)	12 P 太字体(ゴシック)	12 P Gothic
小 見 出	10.5 P 太字体	
本文	10 P 並体	10 P Cent.
本文中の欧語, 数字	10 P Century	---
本文右肩へ添付の引用番号 本文 ^{1, 3-5)}	06 P 並体	06 P Cent.
受理年月日脚注題見出	08 P 並体	08 P Cent.
文 献 欄	09 P 並体	09 P Cent.
欧 文 項	(欧文)	(和文)
主 題	16 P Cent. 頭のみ Cap.	16 P 並体(明朝)
副 題	14 P Cent. 頭のみ Cap.	14 P 並体
著者名	12 P Cent. 頭のみ Cap.	12 P 並体
本文(要約文)	10.5 P Cent. Boldface	10.5 P 並体
図表の表題	09 P 並体	09 P Cent. Boldface

欧文人名	頭のみ Cap. 後は小文字 Cent. (Rayan.R=Cap.)
学名その他ラテン語	Italic
文献欄	
欧文雑誌および書名	Italic
雑誌の巻数(和欧とも)	Gothic

活字書体の指定(原稿に朱書きでアンダーライン)

Capital	=====	Italic Capital	=====
Small Capital	=====	Gothic Italic	=====
Italic	-----	Gothic Capital	=====
Gothic	~~~~~		

本文は句読点にする.